



写真:スケート場周辺で出会ったモズのつがい(撮影:平成30年6月12日)

# 「モズ」

百の舌を持つ鳥

ニヤマキリシマが見ごろを迎え、多くの登山者や観光客でえびの高原はにぎわう季節。野鳥たちも活発になります。ぽかぽか陽気の中歩いていると、追いかけてっこをしている鳥を見つめました。けんかしているのかと思いましたが、しばらく見ていると寄り添うようにとまりました。どうやらモズのつがいのようです。

暖かい春になると、標高の高いえびの高原を訪れ営巣する姿が見られます。秋になると寒さの和らぐ平地に移動します。この時期は甲高い声で縄張り宣言をします。これは「モズの高鳴き」と呼ばれ、モズの象徴的な行動として秋の季節になっています。

漢字で書くと「百舌鳥」。鳴きまねがとてもし上手で、トビの「ピーヒョロロ…」など多くの野鳥の鳴きまねをします。そのことから「百の舌を持つ鳥」といわれています。目立つ所にとまり、尾羽をクルクル回すのも特徴です。美しい花々と一緒に野鳥観察も楽しめるえびの高原です。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

モズ  
*Lanius bucephalus*

スズメ目 モズ科